



## Mexico study tour

「ストリートチルドレンと出会う旅 2012」

W23-067 蓮池夏実

W23-0209 野田俊貴

W23-0135 幅岸 萌



<日程> 9月5日(水)~17日(月)

<費用> 26万円 + (食費、お土産等 2万5000円程度)

<参加NGO> ストリートチルドレンを考える会

<為替レート> 1ペソ=約6円

<物価> 水10ペソ、ビール11ペソ

日付 予定

5日 15:25 成田発 ⇒ 14:20 メキシコシティ着

6日 オリン・シウアツィン 施設訪問、シングルマザーの方の家を訪問  
ジョリア・ニーニャス・デ・ラ・カジェで昼食、折り紙でファッションショー

7日 オーガレス・プロビテンシア 訪問  
定住ホーム「サン・イグナシオ・デ・ロヨラ」、「ソン・リサ」で少女・少年と遊ぶ。  
カウセ・シウダダーノ 訪問 アクティビティ参加

8日 オーガレス・プロビテンシアの子供達と遠足。(BBQ、サッカー、乗馬など) 夜はりなさんとメキシコ人の友人と食事。

9日 <フリータイム> 俊貴 「メキシコシティのスラムで活動する人々を訪問」 ツアー参加  
萌・夏実 セレネさんと世界遺産テオティワカンへ。 夜はりなさんとチュロスを食べに行く。

10日 Aチーム[もえ]: プロニーニョス デイセンターでアクティビティ参加  
Bチーム[俊貴・夏実]: カサ・ダヤ (施設案内、少女証言、アクティビティ等)

11日 Aチーム: プロニーニョス 路上へ  
Bチーム: カサ・アリアンサ・メヒコ 第一定住ホーム、第二定住ホーム訪問 (ワークショップ、アクティビティ等)

12日 Aチーム: カサ・ダヤ Bチーム: プロニーニョス 路上へ  
その後民芸品市場やスーパーへ。夜、りなさんと面白いメキシコ人が部屋にやってくる。

13日 Aチーム: カサ・アリアンサ・メヒコ Bチーム: プロニーニョス アクティビティ参加

14日 <フリータイム> 「メキシコの田舎とエコビレッジ体験ツアー」参加。  
サボテンの実 TUNA 狩り体験。とげが体中に刺さる。田舎料理を食べる。小学生に折り紙を教える。 など…  
夜はツアーメンバーや通訳さんと打ち上げ!!

15日 <フリータイム> 俊貴は路上へ 萌・夏実は民芸品市場で買い物。 23:35 メキシコシティ発

17日 6:45 成田着

## <感想>

初めてのスタディーツアー。毎日違う施設に行き、色々な子供達と触れ合うことができた。出会ってから数時間しか経っていないのに、別れるのが寂しく思えるほど子供達は人懐こかった。みんなそれぞれ将来の夢や明日に向かって一生懸命生きていて、私の方が色々考えさせられた10日間だった。そして私が思っていたストリートチルドレンと実際のストリートチルドレンの現実とは全く違うものだった。このツアーには先輩から話を聞いていきたいと思っていたので今回参加できて本当に良かった。(蓮池)

今回の10日間に渡るメキシコの旅は自分にとってかけがえのないものとなった。貧困、シングルマザー&シングルファザー、家庭内暴力、HIV、路上生活する子供、スラム街に暮らす人々…さまざまなバックグラウンドをもつ子供や若者、そして彼ら彼女らを支える施設の大人たちと出会うことができた。大きな格差が生み出したメキシコ社会の深刻な問題を直に受け、悲惨な状況の中でも訪問者の僕たちの前ではそんな雰囲気は一切出さず、驚くほど前向きに生きている彼ら・彼女らを見て心を打たれた。厳しい環境の中でも本当に強い心で自分の抱える問題に立ち向かっている人々に逆に勇気ももらい、いつか自分もこのような人々を支えていける仕事に就きたいという想いがますます強くなったような気がする。(野田)

今回、初めてスタディーツアーに参加したため、最初は不安もあったが、最後には別れが辛く施設でも部屋でも泣いてしまうほど、このままメキシコに残りたいと思った。ツアーの中、何人もの子供達と出会った。1人1人違った辛い過去を持ちながらも一生懸命前に向かって頑張っている子供たちの姿が心に強く残った。このツアーに参加する前に自分は何が出来るのか疑問に思ったこともあった。実際に子供達から気付かされることも多かったが、通訳さんを通して1人の少年から手紙をもらった時、自分でも何かできたのではないかと感じた。このツアーで経験した事、自分が感じたこと全てをずっと忘れずにこれからも子供に対する支援の活動に参加していきたい。(幅岸)

